

2023.2.16 (木)
第29回例会
(通算3698回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で』

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	ロータリー財団とともに～インパクトを高める～ (担当：ロータリー財団推進委員会)
次週例会	嵯峨記念奨学生卒業報告会 (担当：嵯峨記念育英会委員会)

- ロータリーソング：四ツのテスト
- ソングリーダー：羽田 尚弘君
- 会員数 104名
- ビジター 第2500地区 第7分区 美馬 俊哉ガバナー補佐、同 進藤 卓嗣 IM 実行委員長
- ゲスト 第2500地区 細川 吉博パストガバナー

会長の時間

滝越 康雄会長

皆さま、お食事をお続けください。本日は、時間が押していますので、早めにスピーチをさせていただきます。



本日で、2月の通常例会は終了です。よく「2月は逃げる」と言いますが、やはり早いです。ロータリーの行事でアイスホッケー大会のご案内を昨日メールで申し上げましたが、『第29回釧路ロータリーカップドリームマッチ』は2年の空白が続いた後の再開です。26日(日曜日)に朝9時から開催されます。多数のメンバーの出席とご協力をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

講師の話になりますけれども、今回の例会は梁瀬委員長の人脈のおかげで、パストガバナーの細川様がお越しです。時間を割いてお越しいただいたことに感謝申し上げます。そして、今日の開催にご尽力をいただいた梁瀬委員長にもお礼を申し上げます。パストガバナーには、日帰りという無理なスケジュールで越しいただいております。心の中では、非公式な『公式訪問』を受けている気分です。若干緊張感を持っております。財団関係のお話ですが、私もこの申請などに携わった

ことがございませんので、勉強してお聞きしたいと思います。講話をよろしく願いいたします。

R1第2500地区 第7分区

美馬 俊哉ガバナー補佐



釧路クラブの皆さんこんにちは。本日は、今年度のIMのお願いで来訪させていただきました。コロナ感染症が今年の5月8日から2類から5類へ格下げということで、5月13日に『IM』を予定しております。詳細につきましては、IM実行委員長の進藤卓嗣よりお話をさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

進藤 卓嗣 IM 実行委員長



例会の大変貴重な時間をいただきまして誠にありがとうございます。本日は『インターシティミーティング』開催のお願いのご挨拶で

お願いのご挨拶で

お願いのご挨拶で

来る5月13日(土曜日)、午後1時より白糠町社会福祉センターにおいて「豊かな未来の礎、私たちが
できること ロータリー財団を活用しよう」という
テーマの下、白糠ロータリークラブと音別ロータリー
クラブがホストクラブとして、ただいま準備をしてい
るところです。

『IM』は例年3月開催なのですが、会場の都合上、
5月開催の日程を考えております。つきましては、貴
クラブの全員登録、そしてまた多くの皆さまの参加を
お願いしたく本日おじゃました次第です。

白糠は、釧路にとりましては「通りすがりの街」、そ
してまた高速道路が開通した現在は「通りすがりもし
ない街」となっていますが、ぜひ皆さんにご来町いた
だきまして「白糠ってこんな街だったの、しらぬかつ
た」と思えるようなおもてなしをしたいと考えていま
す。遠方開催で、皆さまには大変ご不便をおかけする
かもしれませんが、ひとりでも多くの皆さまのご参加
をお願い申し上げまして、誠に措辞、簡単ではありま
すがIM開催のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

新入会員紹介

スポンサー 杉村 莊平君

皆さん、こんにち
は。新入会員の木村
拓也君を紹介させて
いただきます。

皆さんがご存じのと
おり木村豊年さんの
息子さんとして、今
回は結果的に後任という形でのご入会となります。

木村拓也君はユタカコーポレーションさんの代表取締役
です。私も同業でして、以前から当然お顔は知って
いますがゆっくり話をしたことはなかったのですが、
いろいろ経緯をお聞きしたら特徴のある経歴を持たれ
ておりますのでご紹介をさせていただきます。

東高校を卒業されています。ダンスが趣味というこ
とです。そのころから考古学への興味があって、札幌
国際大学に入学されました。将来は考古学で身を立
てようと勉強をされていて、ロシアでマンモスの発掘調
査に関わり、その後は北京大学に短期留学をして学ん
でおります。中国語も堪能です。当時、コロナの前の
SARS(サーズ)が流行ってしまい、やむなく帰国し
ています。それは23歳~24歳のころですが論文を
何本も書いて、本当に身を立てようと思っておいま
したが、本当にこれで食べていけるのかという葛藤の
中、お父様が行っていた不動産業へ切り替えて頑張ろ
うとなり、24歳でユタカコーポレーションさんに入
社されました。2014年には代表取締役になっており
ます。



ご趣味は、ゴルフはやりません。麻雀もやりません。
お酒も飲みませんということで、接触することが難し
いかもしれませんが、「飲み会の席は、OKです」とい
うことです。このクラブにもお酒は飲めないけれども
午前1時~2時まで飲み会の席にいる方が何人もい
らっしゃいます。ぜひお誘いいただき、そのメンバー
と一緒に楽しんでいただければと思います。

僕もしばらくぶりに会って、体型が変わったと思っ
て見ていましたが趣味は筋トレで、自宅でも筋トレマ
シンがあって、ジムにも通っているそうです。

ご家族は、独身です。

昭和56年4月生まれで、現在41歳です。皆さんど
うぞよろしく願いいたします。

新入会員挨拶

株式会社ユタカコーポレーション

代表取締役社長 木村 拓也君



ご紹介いただきま
した株式会社ユタカ
コーポレーション代
表取締役を務めてお
ります木村拓也と申
します。先代の木村
豊年から、皆さまに

大変お世話になったと聞いております。私は正直、
このような場合は苦手ですが、先代から「ロータリーク
ラブの皆さまは本当に仲間思いの方ばかりで、信頼で
きる素晴らしい団体である」と聞いていました。今朝
もそう言われました。「本当は行きたいけれども、お
前が行け。その方々に縁をすることで、お前も研鑽し、
自分が成長するようになれ」と言っておりました。

栄光と伝統ある釧路ロータリークラブに入会させて
いただきまして、本当にありがとうございます。ご一
緒に参加できることを誇りに思います。まだまだ未熟
ではございますが、皆さまからのご指導ご鞭撻を賜れ
ればと存じております。

本当に拙い話ではありますが、私の挨拶にさせてい
ただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

■本日のプログラム■

ロータリー財団とともに~インパクトを高める~

ロータリー財団寄付推進委員会 梁瀬之弘委員長

ご紹介いただきました梁瀬です。はじめに過日、母
の葬儀に際してのお礼を申し上げたいと思います。

1月12日に母が亡くなりましたが、その際には皆
さまからたくさんのご供花と過分なるご香料をいただ
きましてお礼を申し上げたいと思います。おかげさま
をもちまして無事滞りなく葬儀を終わらせていただき

ました。この場をお借りしてご報告とお礼をさせていただきます。どうもありがとうございます。ありがとうございました。

実は、財団の月間は11月でして、その



の時に行えば良かったのですが、モタモタしている間に時間が過ぎてしまいました。細川パストガバナーには無理にお願いしましたが、快諾をさせていただいて今日になったわけです。

講演に先立ちまして、細川講師の略歴等を簡単に紹介させていただきます。細川さんは、帯広の社会医療法人博愛会の開西病院という大きな病院の医師であり理事長でもあります。もうひとつは、福祉関係の社会福祉法人博愛会の事業も行っておりまして、そこの理事長でもあります。

ロータリー歴を簡単に説明いたしますと、2002年2月にご入会されております。2014年に帯広北ロータリークラブの会長をされております。地区では2005年に補助金委員会委員を皮切りに、地区財団年次寄付恒久基金委員会の委員長を2007年と2010年に2度されております。その後2018-2019年度の第2500地区ガバナーをされており、本年度は第一地域恒久基金/大口寄付アドバイザーです。

大口寄付の委員会はE/MGAといい、大口の寄付を募るといふ所です。公職ではないけれどもその他にもいろいろな役職を持っております。現在、帯広スポーツ協会の会長であり、スケート連盟、アイスホッケー連盟の会長もされております。それと帯広商工会議所の常議員であります。医師で会議所の常議員になっているということ、釧路ではないこととして、帯広という所は先進的だと思っております。あとは名門帯広柏陽高校の同窓会長もされております。

ガバナーをやられている方は基金や財団をよくご存じで、いつもは釧路のパストガバナーお話を伺うことが多いですが、今日は帯広からわざわざ来ていただき他地域のお話を聞くこともまたよろしいかと思っております。

ロータリー財団のこともさることながら、先ほど申し上げましたE/MGAのことも含めて、多くの皆さんに財団の状況も含めてお話を伺いたいと思っております。

また、最近は少ないですけども、ぜひ皆さんに財団への寄付をこの場でお願いをしたいと思っております。今日、ひとつよろしく願いいたします。

細川 吉博パストガバナー



皆さんこんにちは。2018-2019年度ガバナーをさせていただきました細川と申します。先ほどは新入会員の方もいらっしゃいました

けれども、伝統のある釧路ロータリークラブでお話をさせていただきますありがとうございます。こちらは清水先生をはじめ、小船井パストガバナー、吉田パストガバナーとガバナー経験者が多い所ですので、緊張しております。いま現在、日本の地区の中での財団関係のお役目をいただいている関係上、先ほど梁瀬さんから言われましたけれども「〇〇に来い」と言われたら「はい」と言って行かなければいけない役割がありまして、私もいろいろと千葉や札幌でもどこでも話をさせていただきます。少しお付き合いをいただければと思います。

私の話は皆さんから嫌われるお話で、「お金をください」という話です。でも、お金をくださいと言う前には、お金をどのように使うかも一番大事ですが、私はやはりこのロータリー活動を行っていく中で、このロータリー財団をどのように皆さんがご理解いただいて、ロータリー財団をどのように活用していくのか、が私たちロータリアンとしての活動の成果のひとつにもつながるのではないかと考えております。そこを皆さまにご理解をいただければありがたいと思っております。

先ほど、E/MGA・恒久基金/大口寄付アドバイザーのお話をいただきました。皆さまはご存じかと思っておりますけれども、日本のロータリーの中は「ゾーン」という考え方と「地域」という考え方があります。日本のロータリーがいま90,000人を切って85,000人台になってきておりますので、どうしても3ゾーンをとれなくなりました。この第1ゾーンは1Aと1Bに分けられて、1Bの方は東南アジア全部ではないですけどもバングラデシュや東南アジアの方に分けられております。ですから第1ゾーンと言いますと、私たち北海道を含めた東北ぐらいではなく、外国も少し入ってしまうものですから、いろいろな研修活動では問題があるということで、日本では第1地域から第3地域と分けて、いろいろな活動・セミナー等を行っております。私たち2500地区は第1地域となります。「地区チーム」というものが日本の中にあリまして、その中には大きく4つの役職があります。「ロータリーコーディネーター(RC)」「ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)」「ロータリー公共イメージコーディネーター」「ポリオ根絶コーディネーター」「恒久基金/大口寄付アドバイザー」という形であります。

ロータリーコーディネーターは、簡単に言えば会員増強や新クラブの設立などを中心に行っていく。財団地域コーディネーターは、いわゆる財団のお金を寄付し、どのように使っていくのかということです。公共イメージコーディネーターは、その名のとおりロータリーの公共イメージをどのように高めるかということです。あとポリオ根絶と私が入っている恒久基金／大口寄付アドバイザーです。

私は、私は、
2019年～2022年
まで第1地域のアシ
スタントを3年間やらせていただいて、今回、EMGA(恒久基金／大口寄付アドバイザー)となっております。



財団地域コーディネーターの役割をもう一度お話させていただきますと、ポリオプラスへの支援を促す。ロータリー財団への寄付。特に年次基金に対してのクラブと地区に支援を提供する。そしてロータリー補助金についてクラブや地区に情報提供する。ロータリー補助金はロータリー財団のお金を皆さんでどのように使うかに尽きると思っております。

今回、私が務めておりますEMGAは、「大口寄付と恒久基金への寄付を通じたファンドレイジング(寄付推進におけるロータリアンの参加を助言する)でお金を集めろ」ということです。

大口寄付とは何かと言いますと、実は10,000ドルが大口寄付となっております。

具体的にどのような仕事をするかです。大口寄付見込者を開拓し寄付を懇請する。大口寄付の機会を紹介する。感謝の意を表してその行事を行う。はっきり言えば、ロータリーに寄付をしてくれそうな人に寄って行き「寄付してください」と言って歩くようなものです。日本中にいろいろな方がいて、「握手をしよう」「握手をしよう」と握手したら「はい、大口寄付、決まり」となるような先輩方もいらっしゃいます。どちらかというと、寄っていくと皆さんに逃げられるような状況でもございます。

ロータリー財団の使命をいま一度皆さんと確認したいと思えます。「ロータリアンが健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすること」がロータリー財団の使命でもあります。いま一度、おさらいになりますけれども、ロータリー財団から皆さまにいろいろな補助金・支援を行うことでは何かあるのかといいますと、もちろんポリオなどありますけれども、大きく「グローバル補助金」と「地区補助金」の2つに分けられます。

グローバル補助金とは、ロータリーの7つの重点

分野に該当して持続可能、かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際活動を支援するものです。持続可能とは、今年1年で終わるのではなく3年・5年とつながります。測定可能とは、「お金だけ出しましたよ」ではなく、それがどのような成果を持っているのかをしっかりと評価できるようなものです。具体的に言いますと「人道的プロジェクト」「奨学金」、奨学金は大学院レベルのものです。それと「V T T(職業研修チーム)」は、この2500地区にもコロナの前にはシンガポールやタイから何度か来ています。

グローバル補助金は、最低30,000ドル以上です。国際財団活動資金の400,000ドルが付与されます。これが昔は100%付与だったものが、いまは80%付与になりますので500,000ドルまでの事業に対しては400,000ドルが付与されて900,000ドルの事業ができるということです。最低30,000ドルから500,000ドルまでの事業に対して活動ができます。これがグローバル補助金とお考えいただければと思います。

なかなかグローバルはないのですが、釧路ロータリークラブ様は、タイや水のことをいろいろ行っていますので、ご経験がある方々もたくさんだと思います。

もうひとつは、地区補助金です。これは比較的規模が小さい短期的な活動を支援します。そして各地区が独自に選ぶものです。ですから1年度のものでもよろしいです。例えば、先ほどアイスホッケー大会のお話がありましたけれども、クラブによっては「アイスホッケー大会を主催するから地区補助金を使わせてほしい」という所もあります。ただ地区補助金をずっと続けて行うのはどうだろうかと、地区独自でいろいろ決めている所もありますので、それを続けることは厳しいところもあります。

地区補助金は「人道的プロジェクト」「奨学金」これは先ほどの大学院ではなく普通の大学です。「青少年プログラム」、これは青少年交換プログラムの後にある職業研修チーム(V T T)の派遣、などに使います。補助金は、地区財団活動資金の50%までを使えます。例えば皆さまが年次基金に寄付をされますと、地区財団活動資金と国際財団活動資金(W F) 2つに分けられて、その地区財団活動資金のうちの半分までを地区補助金として使えます。では、あとの半分はどうなるかです。先ほどのグローバルやもっとロータリー財団が選ぶ大きなものに対して使っていくことになっております。

先ほどの「年次基金」についてですが、今年の目標は150ドルですけれども、「Every Rotarian Every Year」という形で「毎年あなたも100ドルを」というお話が何年前までありました。いまもないわけではないですけれども、そのような形で皆さまからいただいた

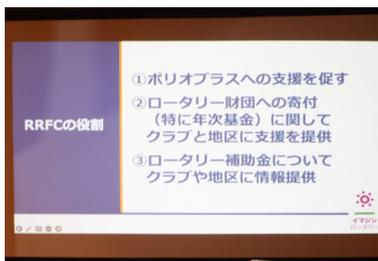
ご寄付は国際財団活動資金（ワールドファンド）や重点分野などにシェアされて、そのシェアはDDF（地区財団活動資金）に50%が行きます。3年後にそのシェアが50%としてDDFに入って、その50%が地区補助金になる形になっております。

1人当たりの年次基金が目標寄付に算入されますが、皆さまにとっては「ポール・ハリス・フェロー」の認証の対象になります。お聞きになった方があるかもしれませんが、財団の100周年が2017-2018年度からありまして、その時に日本中のロータリーが「寄付ゼロクラブを0にしよう」と、つまりこの「年次基金ゼロをなくそう」という活動を行って当初はなくなりました。2500地区は皆さまのいろいろなご協力によって継続している状態です。つまり、皆さまの年次基金が寄付ゼロのクラブの0に当たるとお考えいただければと思います。

実は、恒久基金はこれからお話することには入っておりません。ですから「恒久基金を行いました」「ポリオに寄付をした」は、寄付ゼロクラブの「0」にはならないとお考えください。

恒久基金は、その寄付を恒久的に投資することで、基本的に元本に手を付けずにその収益をもって未永く

ロータリー財団の活動を支援するというものです。恒久基金はどのようなものに当てられるかと言いますと、重点分野やロータ



リー平和センター、シェアにすることもできます。地区と分けることもできます。国際財団活動資金・ワールドファンドにもできます。恒久基金はどのような認証になるかですが、先ほどのポール・ハリスは、恒久基金の認証はベネファクターという形になっております。その辺また名前がちょっと違うということでお考えいただければと思います。

その他の基金の中には、特にグローバルに対しての補助金やポリオプラス等があります。

もう一度確認ですけれども、ロータリー財団の寄付の分類としては、大きく『年次基金』がございます。年次基金はシェアされワールドファンド（DDF）になります。あとは『ポリオプラス』『恒久基金』、それは収益をシェアしていく。元本には手を付けません。特にその中で『冠名基金』がありまして、後ほどそのお話をしたいと思います。

認証につきましては、毎年100ドル以上の方は「財団の友」という認証があります。多くの皆さまが表彰されるのは「ポール・ハリス・フェロー」、もしくは「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」です。それは1,000ドルごとにポール・ハリス・フェローになり、

プラスワンとなると2回目のポール・ハリス・フェロー、つまり2,000ドル以上になった時にはそのようになっていきます。「ベネファクター」は恒久基金に1,000ドル寄付された時にベネファクターとなります。「メジャードナー」は大口寄付で10,000ドル。「アーチ・クランフ・ソサエティ」は同じように恒久基金の250,000ドル以上になります。

「ポール・ハリス・ソサエティ」です。年次基金・ポリオプラス・財団承認の補助金プロジェクトに合計で年間1,000ドル以上の寄付をされた方を「ポール・ハリス・ソサエティ」として認証されております。その中で、ポール・ハリス・ソサエティは2013-2014年度に創設された個人の認証です。それは毎年1,000ドルをこれから継続して寄付しますよという人達のソサエティ、集まりです。会員数は世界で29,000人以上。日本では、後ほど数字を具体的に出示しますが1,230人以上という状態です。世界的には財団の年次基金への寄付の21%です。財団への寄付全体の20%という形でかなり大きなものを占めている状態です。

目指したものは、「世界で良いことを行うロータリー会員の活動を未永く支えること」です。入会方法としてはいろいろあります。決して大変なことではありません。皆さまがロータリーの「My Rotary」から入ったり、パンフレットもありますけれども、入会をしていただき毎年1,000ドルずつお支払いいただくと「ポール・ハリス・ソサエティ」となります。決して一気に1,000ドルを払ってくださいではありません。3カ月ごとに払うこともあれば、毎月払ってもよろしいです。ですから1日コーヒー1杯ぐらいのお気持ちで入っていただければ、これもロータリー財団に対しての大きな寄付になります。寄付先を選ぶことができます。それはシェアや財団の重点分野などを選ぶことができます。オンラインで設定することができますので、ぜひご検討ください。

このような「認証ピン」を贈呈しております。多分、『地区大会』やいろいろな国際大会へ行くと付けていらっしゃる方もいると思います。

本年度のポール・ハリス・ソサエティ会員と本年度の増加数ですがカッコが増加数で、これは2月6日現在です。2500地区は過去に11人いらっしゃいますが、今年度はまだいらっしゃいません。ということで、1,324名の方がいて本年度132名の方が役割を行っています。

『冠名基金』のお話です。1982年に恒久基金をされた方に対して、冠名基金を設けております。冠名基金とは、先ほど言った恒久基金と同じですが、25,000ドル以上をお支払いすると皆さまが好きな名前を付けた、例えばご自身の名前でも良い、奥様と一緒に名前でもいいですけれども基金を設立することができます。

す。冠名基金は個別ですけれども、後ほどそれを追加することもできます。

これ、結構多いことは、いまコロナ禍でクラブの周年とかができなかったクラブでは 25,000 ドルの冠名基金を作って、クラブの周年で行おうとしたこと、クラブの活動を、例えば釧路ロータリークラブ様だったら「釧路ロータリークラブ〇〇周年の基金」という形で行っているクラブもあります。いろいろメリットもありますけれども日本での設立の累計は 218 です。アメリカが最も多いです。ここは、冠名基金の配分元・支援プログラムは国際財団活動資金 (WF)。シェアは WF と DDF にシェアできますので、地域にその運用益が行く可能性もあります。あとはグローバル補助金、重点分野、ロータリー平和センターにやるという形があります。

申請されたものとしては、やはりシェアが一番多いです。日本では個人が 216 です。地区が 18、クラブとして 5、その他 1 です。これは 10 月ですけれども。シェア、ロータリー平和センターが日本の場合、多いです。グローバル補助金の中でも水の衛生や疾病予防等に対してが多いです。

冠名基金の目標は、各地区に 1 件以上つくってくださいとやりました。2500 地区には 8 つの冠名基金がありますが、今年度はまだ 2500 地区にはありません。多分、小船井パストガバナーはいくつか持っていると思います。実は私も 2 つ持っておりまして、一応運用益は毎年レポートで来るという話ですけれども、最近あまり見たことがないものですがこのような状況になっております。

利用可能な収益状況ということです。これは昨年までですけれども、2021 年の投資実績が 30% を超えていました。その段階で平均 7.5% の投資実績だと 10 年間でなりましたが、昨年度は -10% ぐらいになり、10 年間の平均が 6.6% となりました。スライドがあったのですが、あまりにも衝撃的だったのでこれだけを出して口頭でお話をしようと思って持ってきております。

ロータリー財団の世界の目標です。年次基金は 1 億 3,500 万ドル、ポリオプラス基金が 1 億 5,000 万ドル、恒久基金は 1 億ドルです。特に皆さまには、2025 年までに 20 億 2,500 万ドルの恒久基金をお願いしたいとやっております。

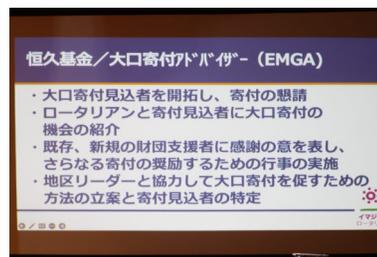
日本の目標は、年次基金は 1 人 150 ドルで、それとゼロクラブ 0 です。ポール・ハリス・ソサエティの推進をしていただきたい。ポリオプラスにつきましては、1 人あたり 30 ドルという目標を立てております。冠名基金・大口寄付には、いま言ったような形でやっております。

これは、ポリオプラスや DDF の 20% 等いろいろあります。特に確か 10 月 24 日だったと思いますけれど

も「世界ポリオデー」に対して各地区でその事業を進めていただきたいとしてやっております。

いろいろな目標の達成ですけれども、冠名基金、大口寄付等は、アーチ・クランフも 2500 地区は 3 名で、今年度はありません。最近の国際ロータリーの方針としては、会員増強や公共イメージ向上、DEI 等いろいろあります。もうひとつは、寄付の増強もございませぬ。私たちはロータリーに入っていて、中には「寄付をするためにロータリーに入っているのか」という方もきっといらっしゃると思っております。先ほども言いましたように、何よりも私たちロータリアンとしての精神の中で、ロータリー活動をしていくわけですけれども、その活動がいかにか円滑に、いかにか効果的に進むかは、やはり財団の活動と両輪として行っていくことが必要ではないかと思っております。

寄付をみますと、日本人の寄付指数は世界でもかな



り低く、23% 程度ということです。ミャンマー人は仏教徒ですので 90% 以上あるということです。寄付の GDP の対比も日本は

0.54% とかなり低い状態です。これは某パストガバナーからいただいたものですが、皆さまがお金を扱うことでは、消費・貯蓄・投資・寄付といろいろあります。ただ、お金というものは、自分のために使うこともありますけれども、寄付というのは他の人に対して使うということです。それ以外はすべてご自身のためです。私たち人間というのは、人に愛されること、人を愛すること、人の役に立つこと、人に必要とされること、がきっと幸福につながるのではないかと思います。私たちが寄付をすることによって、きっとその寄付額に見合う以上のものが人の役に立つことが自分たちの幸福等にもつながっていくのではないかと私は信じております。

寄付をするということは、幸福ホルモンを生み出します。今日の新聞に『オキシトニン』という子宮の収縮ホルモンがありました。オキシトニンは幸福ホルモンです。ちょっと余談ですが、私は医者なものですから、お尻などを触るとエッチと言われるかもしれませんが、実はお尻を触るとオキシトニンというホルモンが出て、幸福ホルモンが出るのです。それが良いか悪いかは別にしても、そのように私たちが寄付という行為の中で人のために何かができることが、もしかしたら幸福につながるのではないかと思います。

私たちはなぜ寄付をするのでしょうか。自分のためだけではありません。他の人の幸福、他の人のために行うということがあります。

ロータリーとはピューリタン、清教徒、ピューリタ

リズムの中でのロータリーの発祥ですけれども、多くの仏教徒の方々におかれましても仏教の中での何かを皆さんのために行うこと自体も『利他のための精神』の大きな現れではないかと思っております。

今日は駆け足で申し訳ございませんが、皆さまへの財団へのご理解とご協力のほどをお願いいたしまして今日はE/MGAとして、またパストガバナーとしてのお話とさせていただきます。

時間が過ぎて申し訳ございません。今日はどうもありがとうございました。